

III. 訪問看護婦からの支援

沖縄県看護協会訪問看護ステーション看護婦
與儀とも子
金城千里
西田方子

1. 入浴の支援

(1) 入浴

小児は新陳代謝が盛んで、運動も盛んなため大人よりもたくさん汗をかき、そのため皮膚も汚れやすくなっています。

入浴によって、体の清潔、新陳代謝の促進、心身の爽快感などが得られ、また親と子のスキンシップやコミュニケーションの良い場ともなります。

1日に1回または、すくなくとも1日おきにお風呂に入れてあげましょう。

皮膚の機能

- ① 皮膚の感覚作用（痛みや温度、触覚などの知覚をつかさどる）
- ② 体温調節作用
- ③ 保護作用
- ④ 水分、塩分の貯留作用
- ⑤ ビタミンDをつくる作用

【入浴時の注意点】

入浴は危険と隣りあわせです。呼吸管理の必要な小児の場合はなおさら注意が必要であり、吸引ケア及び気切カニューレのケアができるようになってからにしましょう。

- ① 健康状態をよく観察した上で実施しましょう。

普段とくらべ、機嫌はどうですか？

熱や顔色はどうですか？

痰は多くないですか？ など

- ② 食事やミルクの直前、直後（1時間程）はさけましょう。

直後は嘔吐の恐れがあり、直前（空腹時）は貧血の恐れがあります。

- ③ お湯の温度、室温は適温に調節しておきましょう。

湯温 38℃～40℃

室温 24±2

- ④ 入浴後は湯冷めしないようにしましょう。

（冬場は暖房やヒーターで室内を暖めましょう）

- ⑤ 入浴の前にすぐに吸引ができるよう、物品の準備をしましょう。

- ⑥ 入浴中は、顔色や表情に十分注意し異常を早めに察知しましょう。

顔色が冴えなくなってきたら

。すぐにバギングしましょう。 ←落ち着いてバギングできるよう冷静に対処しましょ

う。慣れるまでは、誰かにバクバク係りをしてもらいましょう。

◦痰が上がってきてているようならすぐに吸引しましょう。

その後、バクバクして素早く入浴を行いましょう。

⑦ 入浴前後は十分に吸引を行い、入浴後は水分補給をしましょう。

(必要物品)

◦一般入浴時必要物品

◦吸引器、吸引力テーテル類、アンビューバッグ、酸素

◦気切ケアの必要物品

(手順)

1) マットにバスタオルをひいた上に子供を寝かせる。

2) 髪を洗い、シャワーで洗い流す。

3) 顔を湯タオルで拭く

4) 石鹼で体をゴシゴシ洗う

この間にシンクにお湯をはる。

5) ゆっくりお湯につかり、石鹼分を落とす。

※マットの上のタオルを新しい物に取り替える。

6) お湯から上がって、マットの上で体の水分を拭き取る。

7) 入浴後には気切部を消毒し、ガーゼや紐を交換しましょう。

※ただし、家庭によって入浴方法も違ったり、成長に伴いシャワーストレッチャーが必要になってくることもあります。浴室の工夫や、福祉制度を利用するのもよいでしょう。

(2) 清 拭

入浴ができない時は、熱がなく体調が良ければ、皮膚の清潔を保つためにも体を拭きましょう。

(必要物品)

◦洗面器

◦小さめのタオル 2~3枚

◦バスタオル 2枚

◦石鹼又は沐浴剤

◦汚水をするためのバケツ

◦湯と水を入れておく容器（バケツ、やかん等）

(部屋の準備)

日中の暖かい時間で、室温は24℃±2ぐらいにしましょう。

すき間風が入らないよう注意し、必要物品はあらかじめ用意し、使いやすい位置に置きます。

(手順)

1) バスタオルを体の下に敷き、もう一枚は衣服をとった後、体にかけます。

2) 小タオルに石鹼をつけ、体を拭く（乳児の場合、両手に石鹼をあわだてて全身に塗つてもよい）

3) あたたかい湯でしほつたタオルで拭き取る。石鹼分を残さないよう2度拭きします。（沐浴剤を使う場合は2度拭きはしなくてよい）

4) 顔からはじめ、耳介→首→上肢→胸部→腹部→下肢→背部→臀部→陰部の手順で拭きます。

5) 体が冷えないよう手早く行い、乾いたタオルで十分に拭きましょう。



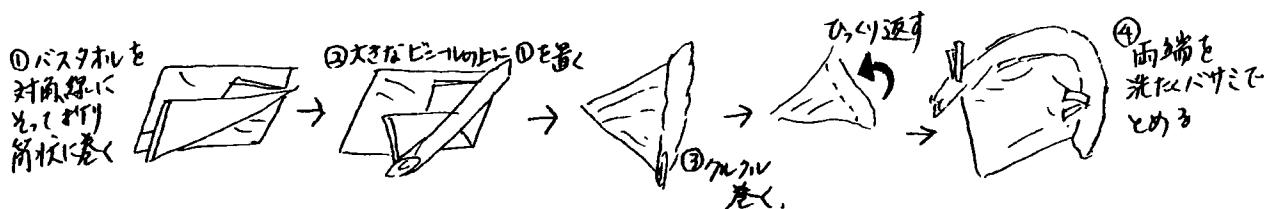
(3) おしり洗い

- ・排便の後や、入浴できないときは部分的におしりを洗いましょう。
- ・洗いピン・・・食器洗い洗剤の空容器などを利用し、おしり洗いができます。
- ・おしりの下にオムツを敷くとよいです。
- ・お湯の温度に注意し、人肌程度にします（陰部は敏感です）。
かぶれている場合は、お茶洗いをすると効果的なこともあります。
- ・洗った後は、よく乾かしかぶれを防ぎましょう。

(4) 洗 髪

洗髪は、頭皮および頭部の汚れを取り除き、血行を促し、新陳代謝を活発にします。また、気分的にも爽快感が得られます。

呼吸器をつけたままベッドやおふとんで洗髪するのにケリーパッド（手作り）を使うとゆっくりきれいに洗えます。



(必要物品)

- | | |
|------------|-------------------|
| ・ケリーパッド | ・やかん又は水差し（湯を準備する） |
| ・バスタオル×1枚 | ・汚水入れのバケツ |
| ・タオル 2枚 | ・ヘアブラシ |
| ・シャンプー、リンス | ・耳栓（綿棒 等） |
| ・ドライヤー | ・ビニール風呂敷 |

(手順)

- ① 寝衣をぬらさないようにビニールを敷き、襟をタオルで覆います。
耳のなかに水が入らないよう耳栓をします。
- ② 頭がベッドの端にくるように寝かせてケリーパッドの位置を決めます。
- ③ ブラシで髪をよくとかします。
- ④ 汚れがひどい時は二度洗いし十分にすすぎます。
- ⑤ ケリーパッドをはずし、すばやくタオルで覆つて水気をとります。
- ⑥ ドライヤーで乾かします。

※その他に、ケリーパッドのかわりに紙オムツを敷き洗髪する方法やドライシャンプーを使う方法もあります。

(紙オムツを使う場合)

- ① 頭部の下に、バスタオル、ビニールシート、紙オムツを置きます。
- ② うすめにしたシャンプー液を使い、シャンプーします。
- ③ 一度蒸しタオルで泡をふきとります（すすぎ水が少なくてすみます）。
- ④ 洗剤の空容器などを利用し、すすぎます。
- ⑤ タオルで拭き、ドライヤーをします。

<ドライシャンプー> 約1,000円程度

2. 経管栄養

経口による食事の摂取が困難な場合は、生きていくために必要な栄養を栄養チューブを使って直接胃のなかに入れてあげる方法を経管栄養といいます。この方法は、誤って気管内に栄養物を注入したり、嘔吐による誤嚥を起こす危険性があるので、正しい技術で安全に栄養が摂取できるようにしましょう。注入中はご家族の食事と同じように和やかな雰囲気を作つてあげましょう。

(1) 注入する栄養食品

<ミキサー食> 家族と同じ食事の中から、ミキサー食を作つて注入するとよいでしょう。

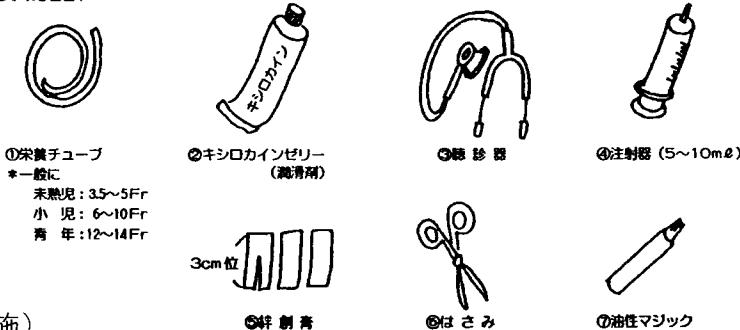
(流動食) 重湯、スープ、みそ汁、牛乳、煮物類の裏ごし
卵、魚肉類、バター、ヨーグルト、果汁など

<経管栄養食> 高カロリーで、栄養バランスのよい流動食

・クリミニール、エンシュアリキット・エレタール
保険適用となっている経管栄養剤もあるので患者の病状により医師と相談しましょう。
入院中の患者、在宅療養に移行する場合は入院中に経管栄養剤を選択してもらいましょう。

(2) 栄養チューブの入れ方

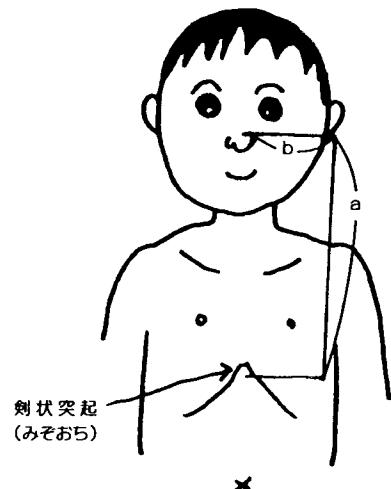
(必要物品)



(実施)

- ① 手を洗い必要物品を準備する。
- ② チューブを挿入する長さを決める。
※鼻から、剣状突起までの長さを a とし、鼻から耳までの長さを b として、 $a + b$ の位置にマジックで印を付けましょう。
- ③ チューブの先端にキシロカイゼリーをつけ鼻から胃内に挿入します。
声かけをしながら挿入し、入りにくい時は、額をあげてチューブを挿入し、咽頭に達したら、額をひき 5cm 位ずつ、すすめて入れていきます。
嚥下できる場合は、つばを飲み込む（ゴックン）ようにしながら進めると挿入しやすい。
- ④ チューブが胃に正しく入っているか確認します。
聴診器を胃部にあて注射器で空気を 2~3ml 注入します。
ボコッという空気の音がはつきり聞こえれば入っています。
- ⑤ テープで固定します。

医療・保健から
支援



動きの活発な子は、確認の前にテープで固定しましょう。
毎日テープの位置を少しずつ変えて、テープかぶれを予防しましょう。
チューブの交換の際、鼻孔は交互に入れ換えましょう。

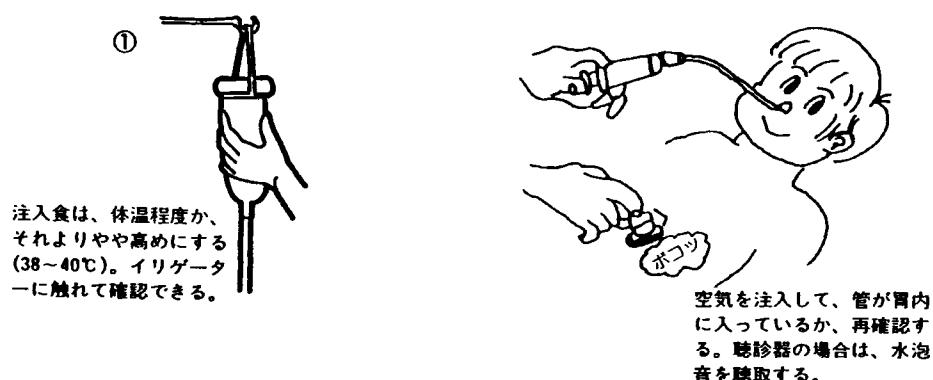
(3) 栄養物の注入

(必要物品)



(実施)

- ① 流動食を38℃（体温）前後に温めます。
熱すぎるとやけどの原因に、冷たすぎると下痢になることがあります。
- ② チューブがテープで固定されても抜けかけていることがあるので、注入の度に正しく入っているか確認します。



③ 注射器で胃内容を確認しましょう。

・何もひけてこない=胃内容が0	消化できています。ミルクを入れてあげましょう！
・胃内容が透明、または薄白い液	胃液です。体内の電解質を保つため大切なので胃内に戻しましょう 少量ならミルクを入れても支障ありません
・胃内容がミルク様	まだ消化できていません 10ml以下の時 → ミルクを入れても支障ないでしょう 10ml以上の時 → ひけたミルクはゆっくり戻してあげましょう 少し時間を遅らせて消化するのを待ちましょう 1時間以上待っても消化できない時 → 注入予定量から胃残量を差し引いて注入しましょう でもこのような状態が続くと脱水の原因にもなります ※消化しやすいようにミルクを半分に薄めて入れたり、湯ざましを入れたりして水分を補ってあげましょう
・胃内容がコーヒー様、または血液が混じっている	消化管のどこかが出血している可能性があります (栄養チューブの先端で胃の粘膜を傷つけたかもしれません、 ストレスからかも……) ひけたものは全部捨ててミルクを定量注入してみましょう ↓ そのあとも続くようなら1回ミルクをとばして胃を休めましょう 胃の負担を少なくし水分を補給するために湯ざましを入れてもいい でしょう ↓ 量が多かったり何回か続くようなら <u>受診</u> しましょう → 胃洗浄・薬物の投与 ※胃などからの出血が多いと黒色便がみられます。 便の色に要注意！
・胃内容が緑色、または濃黄色	胆汁の色です。腸の動きが悪い可能性があります (おなかがはっていませんか？ 排便状態は？) ひけたものは全部捨ててミルクを定量注入してみましょう ↓ 吐いたり、あまり続くようなら <u>受診</u> しましょう
・空気がたくさんひけてくる	ひけた空気は全部捨てましょう。胃に戻すと吐く原因になります

医療・
保健から
支援

- ④ イリギーター（注入容器）をスタンドにつり、容器のチューブ先端までミルクを満たします。
- ⑤ 栄養チューブとつなぎ、20～30分かけて注入できるように速度を調節しましょう。
- 嘔吐を防ぐために上体を少し上げたり、胃から腸への通過をよくするために身体の右側を下にしたりして、安楽な体位の工夫をしましょう。
- 注入が速すぎると、吐き気・嘔吐・下痢の原因に、遅すぎると、次のミルクの時に胃内容が残る原因になります。
- 注入中に吐く、咳こむ、呼吸が苦しくなる、顔色が悪くなるような時は、すぐに注入を止めてください！

・注入中に吐いた	すぐに注入を止めてください！ 気管内に誤嚥してしまうかもしれません ↓ 口鼻腔・気管内の吸引をしましょう（特に口鼻腔の吸引は嘔吐を誘発するので刺激を少なくして行いましょう）
①気管内吸引をするとミルク様のものがひけてくる	ミルク様のものがひけなくなるまで吸引を頻回に行いましょう (肺炎などの原因になりますので、気管内洗浄・タッピングをしっかり行いましょう) ↓ そのあとぐったりしたり、熱が出たり、たんが汚くなる（黄色・緑色など）ようなら受診しましょう
②気管内吸引をすると普段と同じものがひけてくる	栄養チューブの胃に入っている長さが短くないですか？ 長さを確認し、状態が落ち着けばゆっくり注入を再開してみましょう
・注入中に栄養チューブが抜けかけている（または抜けている）	すぐに注入を止めて抜けかけたチューブを抜いてください！ 気管内に誤嚥してしまうかもしれません 注入中に吐いた時と同じようにしてください
・注入中に顔色が悪くなる・呼吸が苦しくなる・心拍数の異常な上昇がみられる	すぐに注入を止めてください！ たんが上がってきているようなら軽く吸引をしてください 少し待って落ち着いたらゆっくり注入を再開してみましょう (誤嚥しているようなら注入中に吐いた時と同じようにしましょう)

- ⑥ 注入が終了すれば、栄養チューブ内にミルクが残らないようにおさゆを2～3㎖程度（チューブ内を流すのに十分な量）注射器で入れ、しっかりとキヤップをしましょう。
- おさゆを流さないとチューブが詰まってしまう原因になります。
- キヤップが開いているとせっかく入れたミルクが流れ出てしまいます。
- 注入直後の吸引は、吐く原因になりますので出来るだけ避けましょう。また注入後1時間は、なるべく安静にしてください。
- ⑦ イリギーター内もしっかりと洗い、熱めの湯を通して、次の注入までミルトン液につけておきましょう。
- イリギーターは、1ヶ月に1度は交換しましょう。

3. 吸引吸入の支援

(1) 気管内吸引

痰がたまると、菌が繁殖し感染の原因となったり、呼吸が十分出来なくなったりします。こうしたこと为了避免するため正しい吸引方法を覚えましょう。

(必要物品)

- ① 吸引カテーテル
- ② 薬液（ヒビテン液、塩化ベンザルコニウム液など）
- ③ 減菌水又は、精製水
- ④ 吸引器（吸引ビン、吸引ビニール管、コネクター）
- ⑤ セッシ
- ⑥ アンビューバック（必要時）

(準備)

- ① 石鹼で手を洗います。
- ② 聴診器で肺の音を聞きます。
→痰が詰まっている場合は、スースーという音がします。
→痰が詰まっているときは、バリバリ、ゼロゼロという音がします。
- ③ 痰のたまっているところを確認したら、必要に応じてタッピングします。
- ④ 吸引器を ON し、コネクターの口をふさぎ吸引圧を確認します。
(小児；150～200mmHg)
- ⑤ 必要時、アンビューバックに 3～5 ℥ 程度の酸素を流し側に置く。

(実施)

- ① 吸引器を ON にします。
- ② セッシを持ち、カテーテルを薬液から取り出して吸引器のコネクターと接続してそのカテーテルを減菌水につけて水を通します。
※薬液の粘膜に対する刺激をとり、カテーテルが詰まってないか確認するため。
- ③ 反対の手で呼吸器を外します。
※この時、セッシとカテーテルが不潔にならないように気を付けましょう。
- ④ カテーテルの接続部を折り曲げて吸引圧を止めた状態で、速やかに気管内に挿入します。
※カテーテルは先端があたるまで、出来るだけ深く挿入して下さい。
- ⑤ 他方の手を緩めて、圧をかけて吸引します。
※この時、カテーテルを回転させながら静かに吸引します。
※1 回の吸引は、10～15秒以内にして下さい。
※この時、痰の観察も忘れないで下さい。（色、粘稠性、量）
※また、顔、唇の色にも注意し、色が悪ければすぐにバギングをしましょう。
- ⑥ 必要時、吸引ごとにアンビューバックを使い、顔や唇の色が良くなるまで加圧し、酸素を与えて下さい。
- ⑦ 吸引した痰を流し適当な吸引圧を保つため、薬液、減菌水の順で吸引し次の吸引に備えて下さい。
- ⑧ 痰がとれるまで(4)～(7)を数回繰り返します。
- ⑨ 吸引が終わったら(7)同様に痰を流し、カテーテルは薬液の中に保管して下さい。

⑩ 吸引後は聴診器をあて、痰がしっかりとれているか確認しましょう。

(2) 吸 入

吸入量法とは、気体または、液体をエアゾール状にしたもの吸入することで、痰を出しやすくしたり、気道閉塞を和らげたり、細菌感染の治療する等の目的があります。

(適応)

- 痰が粘稠性で出しにくい時
- ゼイゼイ、ヒューヒューする時
- 痰が十分に吸引できない時
- 痰に色が付いている時（黄色・・・）

※いずれに置いても医師の指示のもとに行うのが原則なので確認しておきましょう。

(方法)

- ① 指示された薬液を準備する。
 - ② 吸入器の電源を入れ、メインスイッチを ON にする。
 - ③ 薬液の噴霧状態を確認する。
 - ④ 吸入中、痰が上がってきたらすばやく吸引する。
 - ⑤ 吸入終了後は十分に吸引し、痰の性状（色、粘稠性、量）や肺の音を確認観察します。
- ※吸入の場合、レスピレーターに付いている時と超音波ネブライザーなどがあります。器具の種類によって異なりますが、医師に確認して行いましょう。

4. 介護者への支援

介護者は常に肉体的にも精神的にも負担が大きいと思われます。在宅が安心し継続して行えるためにも、介護者への適切なアドバイスやサポートシステムが重要な役割を果たします。

介護者はひとりで悩みを抱え込みます、楽しく介護が出来るよう社会資源を上手に利用しましょう。

(1) 介護のポイント

① 介護をひとりで抱え込まないようにしましょう。

家族の一人一人は、必ず介護に参加できる役割があるのでそれを見つけ、家族に協力を求めることが大切です。

② 患児の生活を充実させるため地域の諸サービスを利用しましょう。

例えば、日常生活用具の給付、移送サービス、訪問看護など・・・

③ 相談相手、仲間、友人を作り、1人で悩まず相談しましょう。

④ 気分転換をしましょう。

身近な変化で気分を転換させる工夫をする。例えば、エプロンを明るい色や柄にかえてみたり、部屋のカーテンをかえ、四季折々の花を生けてみたり、買い物を楽しんだり、友人とおしゃべりするなど。

⑤ 健康管理を万全にしましょう。

介護者の中の多くは健康上の問題を訴えます。腰痛、肩こり、不眠、イライラ、持病の悪化などです。適切な介護姿勢を身につけることは何よりも大切です。軽い運動、ストレッチなどを日常生活の中にリズムとして習慣として取り入れることを試みるとよいでしょう。また、例えば苦

痛な症状が続いたり、いつもと違う状態が継続している場合は受診することが大切です。

⑥ 夫婦の役割について話し合う。

母親は24時間児の側で世話をし、疲れており、誰かに訴えたい気持ちでいっぱいであると思います。父親は家庭の外に出て仕事をし、疲れていると思いますが、家庭を離れることによりいくらかの気持ちの転換が出来ると思います。お互いにその立場を理解し合うことが大切ですが、父親はより多く母親に対していたわりを持ち、児を中心にしての助け合いが出来るような環境づくりが望まれます。

(2) 訪問看護婦の立場から

家庭で介護していく中で、お子さんの成長に伴い、入浴や外出時の介護が大変（難しく）になったり、また買い物や学校のPTAに参加したいがその間の介護を引き受けてくれる人がいない等のひとりでは背負いきれない問題や悩みが出てくると思います。

その様なとき、訪問看護婦が相談に乗ったり、介護をお手伝いすることが出来ます。その為にも、日頃から私達訪問看護婦がお子さんの普段の状況や病状を知ることでお母さんにとっても安心して介護を任せることが出来るかと思います。

お母さん、一人で悩まずお近くの訪問看護ステーションへお電話してみませんか？

5. 訪問看護について

（役割）

訪問看護によって、患者又はその家族に療養の仕方や介護に助言したり援助し、それぞれの家庭での看護力、介護力、さらにその技術を高め効果的な在宅ケアが継続できるようにする。

医療・
保健から
支援

（訪問看護の利用について）

◦ 対象者

- 1) 疾病や負傷などにより、居宅において継続して療養を受ける状態である者で、かかりつけの医師が必要と認めた者。
- 2) 主としては、難病患者、重度障害者（筋ジス、脳性麻痺、脊椎損傷など）末期の悪性腫瘍の患者、精神障害者等で看護婦等が行う看護が必要な者。

◦ 訪問回数

月1回から週3回を原則とする。療養者の状況やご本人ご家族の希望を聞いて決めます。但し、病状が悪化した場合は、かかりつけの医師の指示により頻回の訪問が出来ます。

◦ 訪問時間

30分～1時間30分の看護サービスを行います。

◦ 申し込み方法

- 1) かかりつけの医師から「訪問看護指示書」を交付してもらい、各ステーションへ訪問看護の申し込みをする。
- 2) かかりつけの医師の「訪問看護指示書」がない場合や、かかりつけの医師がいない場合は直接各ステーションにご相談下さい。

◦ 看護の内容

- 1) 病状の観察や日常生活の看護

- (入浴、清拭、洗髪、食事、排泄、体位変換、血圧測定など)
- 2) 医師の指示による医療処置
(床ずれその他傷の処置、留置カテーテルの管理、服薬管理など)
 - 3) リハビリテーション
(寝返りや起き上がりの訓練、座る訓練、排泄動作の訓練など)
 - 4) 在宅福祉サービスの紹介
(ホームヘルパーの派遣、デイサービス、ショートステイ、日常生活用具給付・貸与に関する相談)
 - 5) 介護相談・指導
(介護に関する悩みなどについて相談)
- ※訪問看護の利用については、病院からの訪問看護と訪問看護ステーションの訪問看護のいずれか一方の利用が出来ます。

引用・参考文献

- ①平本弘富美編 “バクバクッ子の為の生活便利帳”
六甲公教社 1993、1997
- ②長期的障害をもつ小児の看護 小児看護シリーズ5
1976年11月15日 初版発行
1988年10月31日 改訂版第1刷発行
編集 吉武香代子、常葉恵子、田島香代子
発行 (株)日本看護協会出版会
- ③訪問看護研修テキスト〈老人、難病、重度障害児、障害者編〉
1995年4月10日 第1刷発行
1988年10月31日 第4刷発行
監修 厚生省 老人保健福祉局老人保健課
／ 保険局医療課
／ 健康政策局看護課
編著 老人訪問看護研修事業等検討会
発行 (株)日本看護協会出版会

～後に立つ情報～

訪問看護利用料（平成10年3月）

- 基本利用料は、医療保険の適用になります
(3割自己負担の場合)
 - ・週1回の訪問頻度 月4回の場合 12,135円
 - ・週2回 ／ 月8回 ／ 21,975円
 - ・週3回 ／ 月12回 ／ 31,815円
- 交通費、衛生材料費等は実費です。
- 2時間を超過した場合は、超過料金の設定があり
1時間以内につき1,500円～3,000円とステーションにより値段の設定が違います。

※公費負担制度の適用
ただし、小児慢性特定疾患や特定疾患又は重度心身障害者医療費助成給付の適用者については、交通費程度で利用することができます。

～Q&A～

訪問看護を急にお願いしたい時

Q1 急な用事の時に臨時でもお願ひできますか？

A：利用可能です。ただし、条件があります。

- ① 日頃より定期的な訪問看護を利用して児の状態を充分に把握している看護婦が複数いること。
- ② 緊急時の連絡体制と対応、搬送システムが確立し看護婦も熟知していること。
- ③ 親への連絡がとれる事。
- ④ 児の状態が安定している事。

以上の条件を満たした上で、依頼があれば訪問可能な看護婦との調整をして対応する事が可能と思う。安心して留守の間、ケアしながら話し相手になつたり、絵本を読んだり、音楽を聴いたり、散歩などしあげることができます。

訪問看護ステーション

「疾病、負傷等により、家庭において寝たきり又はこれに準ずる状態にある者を対象として、かかりつけの医師が訪問看護の必要を認めた者に対し、看護婦等が訪問し在宅において療養上の世話または必要な診療の補助である看護サービスを提供する事業。」

医療
・
保健
から
の
支
援

番号	名称	所在地	電話番号
1	沖縄メディカル訪問看護ステーション	〒901-1415 佐敷町字新開1-344	098-947-3555 (内30) FAX 947-3335
2	オリブ山老人訪問看護ステーション	〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-46 九波ビル201	098-886-7985 FAX 885-2160
3	友愛会老人訪問看護ステーション	〒901-0243 豊見城村字上田25	098-850-3811 (内269) FAX 850-3810
4	老人訪問看護ステーションおもと園	〒902-0067 那覇市安里1-1-47	098-867-8466 FAX 同じ
5	つるかめ老人訪問看護ステーション	〒901-2132 浦添市伊祖4-15-3	098-877-0645 FAX 875-4183
6	沖縄県看護協会訪問看護ステーション	〒901-1103 南風原町字与那覇460	098-888-3405 FAX 888-3126
7	ふれあい老人訪問看護ステーション	〒901-1111 南風原町字兼城642-1	098-889-5652 FAX 889-6615
8	志誠会老人訪問看護ステーション	〒904-2222 具志川市字上江洲661	098-974-4000 (内116) FAX 974-4002
9	大道老人訪問看護ステーション	〒902-0066 那覇市字大道128	098-885-2885 FAX 885-2885
10	小禄老人訪問看護ステーション	〒901-0152 那覇市字小禄651	098-857-2060 FAX 857-6058
11	老人訪問看護ステーション識名清風苑	〒902-0078 那覇市識名3-20-12	098-831-6174 FAX 855-5917
12	訪問看護ステーション若松	〒901-2314 北中城村大城311	098-935-5818 FAX 935-5855
13	訪問看護ステーションいづみ苑	〒904-2205 具志川市字栄野比1150	098-972-7123 FAX 972-7319
14	やんばる訪問看護ステーション	〒905-0006 名護市字宇茂佐1763-2	0980-52-7757 FAX 53-6976

15	中部地区医師会立訪問看護ステーション	〒904-0113 北谷町字宮城1-584	098-936-8285 FAX 936-8285
16	老人訪問看護ステーションかいほう	〒901-2224 宜野湾市真志喜2-23-5	098-898-2111 FAX 897-9356
18	宜野湾訪問看護ステーション	〒901-2213 宜野湾市字志真志191	098-894-1760 FAX 894-1760
19	あわせ訪問看護ステーション	〒904-2173 沖縄市比屋根964-1	098-933-7835 FAX 933-7781
20	さらたけ訪問看護ステーション	〒906-0000 平良市字仲宗根1898-7	09807-3-0910 FAX 3-0911
21	北部地区医師会立訪問看護ステーション	〒905-0006 名護市字宇茂佐1712-3	0980-54-3185 FAX 54-3185
22	くもじ訪問看護ステーション	〒900-0015 那霸市久茂地1-8-16	098-864-2300 FAX 864-5006
23	しんあい訪問看護ステーション	〒904-1203 金武町字屋嘉2724	098-965-6686 FAX 965-6663
24	訪問看護ステーション太陽の里	〒907-0001 石垣市字大浜1349-81	09808-8-5556 FAX 8-5510
25	訪問看護ステーション西崎	〒901-0305 糸満市西崎町3-378 シャンドール西崎101	098-994-4418 FAX 994-6890
26	沖縄県看護協会 訪問看護ステーションみやこ	〒906-0013 平良市字下里1245-9	09807-3-5871 FAX 3-5871
27	ひまわり訪問看護ステーション	〒901-0313 糸満市嘉数406-1	098-994-0888 FAX 994-0888
28	願寿の森訪問看護ステーション	〒904-1106 石川市石川3273	098-964-3880 FAX 964-3880
29	ぐしくま訪問看護ステーション	〒901-2133 浦添市城間2606	098-870-7057 FAX 870-7057
30	いづみ訪問看護ステーション	〒900-0021 那霸市泉崎2-2-5 那霸民主診療所内4階	098-855-6201 FAX 855-6201
31	比謝川の里訪問看護ステーション	〒904-0201 嘉手納町字久得242-2	098-957-3311 FAX 957-0002
32	大名訪問看護ステーション	〒903-0802 那霸市首里大名町1-43-2	098-886-5070 FAX 885-1186
33	中城訪問看護ステーション	〒901-2412 中城村字奥間909-1	098-870-3855 FAX 870-3856
34	桃源の郷訪問看護ステーション	〒905-0000 名護市大西3-19-25	0980-54-1305 FAX 53-1155
35	おもととよみの杜訪問看護ステーション	〒901-0215 豊見城村字渡嘉敷150	098-851-0100 FAX 852-0200
36	池田苑老人訪問看護ステーション	〒903-0115 西原町字池田757	098-944-1161 FAX 946-2230

<メモ>